

# 日本宗教学会

# 第77回学術大会

2018年9月7日(金)～9日(日)

## 【会場】

大谷大学（京都／本部キャンパス）

きょうもんかん  
慶聞館・講堂棟

# 「お知らせ」と「お願い」

1. 受付手続きの際、必ず名札をお受け取りください。名札は、常に身に付け、お帰りの際にご返却ください。
2. **理事会承認後の発表題目の変更、パネル発表の構成員・発表順の変更は一切認められません。**  
プログラムと同一にしてください。
3. 発表者は、発表の2番前に、発表会場の「発表者待機席」においでください。
4. **申し込み時にパソコン用プロジェクターの使用を申請された方へ**  
個人発表の場合は発表の2番前、パネル発表の場合は開始20分前までに、会場係にお申し出ください。
5. 発表時に配布する資料は、数に余裕をもってご用意の上、会場係にお渡しください。  
(会場での複写は受け付けません。)
6. **発表時間は以下のように決められています。時間厳守をお願いします。**
  - ・個人発表 発表15分、質問5分、計20分(初鈴13分、二鈴15分、三鈴20分)
  - ・パネル発表 「発表者数×5分」をフロアからの質問時間として確保ください。  
それ以外の時間配分は、パネル運営者にお任せします。
7. 発表会場間の移動、及び、プロジェクターの準備に時間が必要なことを考慮して、個人発表終了後に5分間の休憩時間を設けています。この5分間を議論の延長などに使うことのないようお願いします。
8. 発表の取り消しがあった場合でも、その後の発表は時間を繰り上げることなく、プログラム記載の時間に発表して頂きます。
9. 理事会承認後の発表取り消しは原則として認められません。やむを得ぬ事情により発表を辞退せざるを得なくなった場合は、できるだけ速やかに、大会実行委員会に連絡をしてください。
10. **個人発表の『宗教研究』別冊用要旨について**  
20頁『宗教研究』別冊用要旨 作成と提出の注意』に従って作成し、9月14日(金)までに、編集委員会に送信してください。
11. **パネル発表の『宗教研究』別冊用要旨について**  
20頁『宗教研究』別冊用要旨 作成と提出の注意』に従って作成し、代表者が発表者全員分をとりまとめて、9月14日(金)までに、編集委員会に送信してください。  
また、代表者は、「パネルの主旨とまとめ」と「パネルの欧文タイトル」、コメンテータの「コメント」を、9月21日(金)までに、編集委員会に送信してください。
12. 会場の配置については、24～25頁の会場配置図をご覧ください。
13. パネル発表時の机はご自由に並び替えてください。なお、終了後の原状回復にご協力お願い申し上げます。

<b>大会受付</b>	(金) 講堂棟1階ロビー・ホワイトエ	(土・日) 慶聞館1階学生ロビー
<b>大会実行委員会本部・学会本部</b>	(金) 講堂棟1階ホワイトエ	(土・日) 慶聞館グローバルスクエア
<b>クローク</b>	(金) 講堂棟1階ホワイトエ	(土・日) 慶聞館1階会議室2
<b>会員休憩室</b>	慶聞館1階学生ロビー(ミナイル・プラザ) および各階マルチスペース	

# 大会日程

## 9月7日(金)

学会賞選考委員会	慶聞館 K220 教室	12:30-13:30
庶務委員会	慶聞館 K219 教室	13:00-14:30
国際委員会	慶聞館 K218 教室	13:00-14:00
情報化委員会	慶聞館 K217 教室	13:00-14:00
開会式	講堂棟 講堂	14:30-14:40

公開シンポジウム	講堂棟 講堂	14:40-17:40
----------	--------	-------------

テーマ 「ヒトと宗教」

講演者 松沢哲郎 (京都大学高等研究院特別教授)

鷺田清一 (京都市立芸術大学学長・大谷大学客員教授)

コメンテータ 門脇 健 (大谷大学教授)

趣旨説明 木越 康 (大谷大学学長)

理事会	慶聞館 K204 教室	18:00-20:30
常務理事会	慶聞館 K204 教室	20:30-20:50

## 9月8日(土)

研究発表(個人)	慶聞館 各会場	9:00-12:40
評議員会	慶聞館 K101 教室	12:40-14:00
研究発表(個人、パネル)	慶聞館 各会場	14:00-16:00
会員総会	慶聞館 K101 教室	16:20-17:40

懇親会	講堂棟 地階食堂	18:00-20:00
-----	----------	-------------

## 9月9日(日)

研究発表(個人)	慶聞館 各会場	9:00-12:15
編集委員会	慶聞館 K201 教室	12:15-13:00
プログラム委員会	慶聞館 K219 教室	12:15-13:00
研究発表(パネル)	慶聞館 各会場	13:15-15:15
男女共同参画・若手支援 ワーキンググループ	慶聞館 K214 教室	16:15-17:15

# 開催校からのお知らせ

本年度の学術大会へご参加いただくにあたり、開催校としてお知らせしておきたいことがございます。ご一読くださいますようお願い申し上げます。

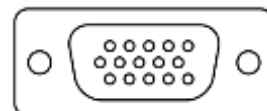
- (1) 会場には大会参加者用の駐車場はございません。自家用車での来場はご遠慮願います。  
やむを得ない事情で自家用車で来場されたい場合は、近隣の有料駐車場をご利用ください。  
なお、会場へのアクセス、キャンパス地図については22頁以下をご参照ください。
- (2) 発表会場は慶聞館の教室を使用します。会場ごとに部屋の大小や机の配置等に大きな違いがあります。会場によっては、狭すぎる、あるいは広すぎると感じられることがあるかもしれませんが、ご理解ください。
- (3) クロークでは、お荷物をお預かりする用意はございますが、貴重品・衣服については預かりかねます旨、ご了承ください。
- (4) 昼食には慶聞館1階カフェがご利用いただけます。また、近隣には各種飲食店、スーパーマーケット、コンビニエンスストア、ショッピングモールもございます。  
会員休憩室では、飲食が可能です。1階の学生ロビー（ミナイール・プラザ）および2～5階の各フロアに設けられたマルチスペースを休憩室としてご利用ください。
- (5) 会場内に出版社による書籍展示ブースを設けています（慶聞館2階 K203 教室）。
- (6) 会場にはプリペイドカード式のコピー機がありますが、台数に限りがありますので、配布資料などは部数に余裕をもって予め各自でご用意ください。
- (7) 慶聞館では、eduroam, au WiFi, Wi2premium, SoftBank WiFi のユーザーはWiFiを利用できます。
- (8) 台風などにより開催状況に変更が生じた場合は、大会ホームページを通じてお知らせします。
- (9) 喫煙は所定の喫煙所（学内1カ所、講堂棟入口脇）でお願いします。
- (10) **大会直前、および期間中に緊急に連絡する必要がある場合の連絡先は、大会ホームページで、ご確認ください。**

# パソコン用プロジェクターの使用を申し込まれた方へ

発表申込の際に、パソコン用プロジェクターの使用を申し込まれた方は、以下の注意を熟読してください。発表申込時に、機材の使用を申し込まれなかった場合、申込後に変更がある場合、対応はいたしかねます。機器の動作について完全な動作保証は難しいため、ご心配な方は事前に大会実行委員会にご相談ください。

## ① パソコンを持参する場合

各部会会場で使用するパソコン用プロジェクターは、HDMI と VGA (D-Sub15ピンのアナログ接続) (右図) にのみ対応しています。音声出力は可能です (オーディオケーブルは会場にあります)。



DVI、USB などの接続方式には対応していません。

パソコンによっては (Macintosh 等)、直接接続できない場合がありますので、変換アダプターをご持参ください。

また、ご持参のパソコンが接続できないトラブルも起こりえますので、USB メモリーにプレゼンテーション資料を保存してお持ちください。

## ② パソコンを持参しない場合

USB メモリーで、プレゼンテーション資料を、十分な時間的余裕をもって各会場にお持ちください。

USB メモリー以外の記録メディアをお使いになる場合は、USB 接続に変換する機器を各自ご持参ください。事前にお持ちになる記録メディアのウイルスチェックを必ず行ってください。

会場に用意されるパソコンは、Windows 7 (日本語版) で、PowerPoint 2016 です。音声の出力も可能です。

他の OS (Macintosh, UNIX 等) や他のソフトウェア (Keynote, OpenOffice.org 等)、特殊フォントには対応しておりませんので、ご注意願います。

# 公開シンポジウム

## ヒトと宗教

### 趣旨

遠い過去から、常に人類と共にあり続けてきた「なにがしかのもの」を私たちは「宗教」と呼び、研究の対象としてきました。畏れや祈り、信仰や哲学など、さまざまな形で表現されてきたそれはいったい何なのでしょう。

今回のシンポジウムでは、登壇者 2 名とコメンテータ 1 名が、通常は、人類が有する特徴の一つとして見なされる「宗教」の意味の広がりについて議論します。この問題を考える際には、「人類がもつ宗教」という枠組みそのものも再考される必要があるでしょう。死者を悼むことや超越的なものへの祈りなどをどのようにして人類がもつようになったのでしょうか。

シンポジウムでは哲学と霊長類学の立場から「ヒトと宗教」の関係を問い、宗教学の立場からその議論にコメントを加えつつ、宗教研究に新しい視座を加えることを試みます。

**日時** 2018年9月7日（金）14：40－17：40（14：00 開場）

**会場** 講堂棟 講堂

**次第** 趣旨説明 木越 康（大谷大学学長）  
講演1 松沢 哲郎（京都大学高等研究院特別教授）  
講演2 鷺田 清一（京都市立芸術大学学長・大谷大学客員教授）  
コメント 門脇 健（大谷大学教授）  
休憩  
ディスカッション

### 登壇者紹介

松沢哲郎（京都大学高等研究院特別教授）

京都大学霊長類研究所・兼任教授。理学博士。

1950年、愛媛県松山市生まれ。1974年、京都大学文学部哲学科卒業。1977年11月から「アイ・プロジェクト」とよばれるチンパンジーの心の研究を始め、野生チンパンジーの生態調査も行う。

チンパンジーの研究を通じて人間の心や行動の進化的起源を探り、「比較認知科学」とよばれる新しい研究領域を開拓した。2016年3月に京都大学霊長類研究所を退職、同年4月、京都大学高等研究院特別教授に就任。

著書に『想像するちから』（岩波書店 2011年、第65回毎日出版文化賞受賞、科学ジャーナリスト賞 2011受賞）など多数。2004年紫綬褒章受章、2013年に文化功労者。

松沢哲郎 website

<https://www.matsuzawa.kyoto/>

チンパンジー・アイ website

<http://langint.pri.kyoto-u.ac.jp/ai/index-j.html>

鷺田清一（京都市立芸術大学学長・大谷大学客員教授）

昭和24年京都生まれ。昭和47年に京都大学文学部哲学科卒業後、関西大学教授、大阪大学教授、大阪大学総長、大谷大学教授などを歴任。大阪大学名誉教授、大谷大学客員教授、せんだいメディアテーク館長。専門分野である哲学・倫理学の視点からアート、ファッション、教育、労働、ケアなど様々な分野において、数多くの評論・執筆活動を行っている。

平成元年第10回サントリー学芸賞：『分散する理性』および『モードの迷宮』、平成12年第3回桑原武夫学芸賞：『「聴く」ことの手』、平成16年紫綬褒章、平成24年第63回読売文学賞：『「ぐずぐず」の理由』を受賞。

門脇 健（大谷大学教授）

1954年福井県生まれ。京都大学大学院文学研究科宗教学専攻博士後期課程退学。1991年より大谷大学哲学科教員。研究領域・テーマはヘーゲル／宗教哲学／日本宗教思想史。

主要著書・編著・訳書に『哲学入門 死ぬのは僕らだ！私はいかに死に向き合うべきか』（角川SSC新書）、『揺れ動く死と生』（晃洋書房、編著）、「トーテムとタブー」（『岩波版フロイト全集第12巻』、翻訳）。

主な論文に「ヘーゲルと読むハムレット」、「非論理の論理」など。

木越 康（大谷大学学長）

1990年大谷大学大学院文学研究科真宗学専攻博士後期課程満期退学。1992年私学研修福祉会国内研修員（研修先：東京大学 宗教学）。1998年大谷大学短期大学部講師。2013年同大学教授。2016年学長に就任。研究領域・テーマは真宗学／キリスト教との対話的研究／宗教学。

主要著書に『死者・生者論』（ペリカン社、共著）、『ボランティアは親鸞の教えに反するのか』（法藏館）、『キリシタンから見た真宗』（東本願寺、共著）、『仏教とキリスト教の対話Ⅰ～Ⅲ』（法藏館、共著）。

主な論文に、「真宗教学の近代化と現在—浄土理解の変遷を通して—」、「「悪人正機」の人間教育」、「信心発起という出来事—法然・隆寛との思想的交流を通して—」、「臨床仏教としての親鸞思想」など。

---

## 関連企画

---

### 大谷大学博物館 秋季企画展「大谷大学と宗教研究—清沢満之・西田幾多郎・鈴木大拙—」

今年の秋季企画展は、本学のキャンパスを会場に開催される日本宗教学会第77回学術大会における「ヒトと宗教」をテーマとした公開シンポジウムの企画をうけて、「大谷大学と宗教研究—清沢満之・西田幾多郎・鈴木大拙—」と題する企画展を開催する運びとなりました。

東京大学で宗教哲学を学び、『宗教哲学骸骨』を著した清沢満之（1863-1903）は、のちに精神主義運動を提唱し、本学の初代学長を務めました。清沢満之の哲学的思索は、独創的な哲学を提示した『善の研究』で有名な哲学者・西田幾多郎（1870-1945）の思想に影響を与えたとも言われます。また西田と親友であった宗教哲学者・鈴木大拙（1870-1966）は、鎌倉仏教の核心に「日本的靈性」の自覚を見出すと共に、仏教思想を広く欧米に紹介し、晩年には、『教行信証』の英訳に力を注ぎました。

また、西田幾多郎は1911（明治44）年に東京から京都に移転して真宗大谷大学となった折りに講師として就任し、鈴木大拙は西田との縁で、1921（大正10）年に本学教授に就任し、東方仏教徒協会を設立して雑誌 *The Eastern Buddhist* を創刊するなど、いずれも本学に縁の深い方々です。本展では、大谷大学と縁の深いこれら三人を取り上げ、その人となりや研究の一端をご紹介します。

なお、秋季企画展では、合わせて、博物館学芸員課程の学生による実習生展を開催いたします。

期間：2018年9月4日（火）～9月22日（土） どなたも無料でご覧いただけます。

【開館時間：10時～17時 休館日：日・月（ただし、9/9、9/17は開館）】

※大学HPの「2018年度開館カレンダー」でご確認ください。

# 第1部会 (K214)

9月8日(土)

## 【午前】

- |                |                                |               |
|----------------|--------------------------------|---------------|
| 1. 9:00-9:20   | 「宗教」概念史研究の現状と課題                | 高山 善光 (広島大)   |
| 2. 9:25-9:45   | 宗教認知科学の成立過程と現状                 | 藤井 修平 (東大)    |
| 3. 9:50-10:10  | 宗教研究における自然主義の可能性について           | 松野 智章 (東洋大)   |
| 4. 10:15-10:35 | 道徳・宗教・市場経済-J.ヘンリックの議論の可能性と問題点- | 柳澤 田実 (関西学院大) |
| 5. 10:40-11:00 | 現代社会における宗教の公的意義について            | 飯田 篤司 (鎌倉女子大) |
| 6. 11:05-11:25 | 宗教における「秘密」の構造                  | 岩井 洋 (帝塚山大)   |
| 7. 11:30-11:50 | 身心変容における陶酔と覚醒                  | 津城 寛文 (筑波大)   |
| 8. 11:55-12:15 | 宗教の図像表現                        | 松村 一男 (和光大)   |
| 9. 12:20-12:40 | ひと・人格・人物をめぐる宗教史                | 関 一敏 (九大)     |

## 【午後】 国際委員会企画 英語使用

パネル	世俗社会における「宗教的なもの」を再考する	代表者：伊達 聖伸
14:00-15:40	現代社会における宗教的なものに対する視線の交錯 「所属なき信仰」から「代行の宗教」へ ソ連解体後のロシアにおける「所属なき信仰」と「代行の宗教」 ポスト世俗化社会における宗教と観光	伊達 聖伸 (上智大) グレース・デイヴィー (エクセター大) 井上まどか (清泉女子大) 岡本 亮輔 (北大) 司会：伊達 聖伸 (上智大)

9月9日(日)

## 【午前】

- |                |                              |                 |
|----------------|------------------------------|-----------------|
| 1. 9:00-9:20   | マルチバース宇宙論は理神論を超越出来るのか?       | 十津 守宏 (ユマニテク短大) |
| 2. 9:25-9:45   | プラグマティズムとしての仏身論-神の仮説と方便法身-   | 菱木 政晴           |
| 3. 9:50-10:10  | プラグマティズムにおける真理の確定不可能性の根拠について | 冲永 宜司 (帝京大)     |
| 4. 10:15-10:35 | R.オットーとダーウィニズム               | 藁科 智恵 (東京外国語大)  |
| 5. 10:40-11:00 | メンシングの宗教的寛容論の現代的意義           | 後藤 正英 (佐賀大)     |
| 6. 11:05-11:25 | ペッタッツォーニ宗教史学とヴィーコの学          | 江川 純一 (東大)      |
| 7. 11:30-11:50 | 宗教現象学における体験の問題               | 奥山 史亮 (北海道科学大)  |
| 8. 11:55-12:15 | ドイツ民族主義宗教運動と美学的なるもの          | 深澤 英隆 (一橋大)     |

## 【午後】 日本宗教研究諸学会連合共催

パネル	宗教研究の振興と学会・学会連合の役割-学術会議との対話-	代表者：藤原 聖子
13:15-15:15	宗教学会の状況-他分野学会と比較して- インド学仏教学は「社会的要請」にいかに対応するのか 神学・キリスト教学の現状と将来にむけて 日本における道教研究の有効性について	藤原 聖子 (東大) 斎藤 明 (国際仏教学大学院大) 土井 健司 (関西学院大) 土屋 昌明 (専修大) コメンテータ：井野瀬久美恵 (甲南大) 司会：藤原 聖子 (東大)



# 第2部会 (K205)

9月8日 (土)

## 【午前】

- |                |   |                   |
|----------------|---|-------------------|
| 1. 9:00- 9:20  | スピノザにおける人間精神の持続と永遠性                     | 大野 岳史 (東洋大)       |
| 2. 9:25- 9:45  | カントの宗教哲学における神義論の問題                      | 南 翔一郎 (立命館大)      |
| 3. 9:50-10:10  | カントにおける「宗教」と「信仰」に関する一考察                 | 保呂 篤彦 (筑波大)       |
| 4. 10:15-10:35 | 宗教と倫理—キェルケゴールとカントにおける宗教—                | 森田 美芽 (大阪キリスト教短大) |
| 5. 10:40-11:00 | キェルケゴールと「倫理」の問題再考                       | 谷塚 巖 (びわこ学院大)     |
| 6. 11:05-11:25 | F. ニーチェの (circulus vitiosus deus) という思想 | 中路 正恒 (京都造形芸術大)   |
| 7. 11:30-11:50 | ハイデッガーの嘆き—何故西洋の思想・言語は息苦しいか—             | 高橋 勝幸 (南山宗教文化研究所) |
| 8. 11:55-12:15 | ハイデッガーの「反ユダヤ主義」について                     | 田鍋 良臣 (大谷大)       |
| 9. 12:20-12:40 | ハイデッガーの無神論                              | 若見 理江 (就実大)       |

## 【午後】 開催校特別企画①

パネル 21世紀の日本仏教・仏教学と社会貢献	代表者：下田 正弘
14:00-16:00 東方仏教徒協会 (EBS) と大谷大学	井上 尚実 (大谷大)
学問の中からのこの世に応じる仏教の声—EB誌の使命—	マイケル・パイ (マールブルク大)
イデオロギー論争によって分断された世界にある仏教・仏教学	ジョン・ロブレグリオ (オックスフォード・ブルックス大)
仏教者の社会貢献とは何か—精神的苦痛からの解放—	藁輪 顕量 (東大)
仏教・仏教学と社会貢献—EB誌をめぐる—	下田 正弘 (東大)
	司会：井上 尚実 (大谷大)

9月9日 (日)

## 【午前】

- |                |                               |                |
|----------------|-------------------------------|----------------|
| 1. 9:00- 9:20  | エミール・シオランの思想における存在概念          | 大谷 崇 (早大)      |
| 2. 9:25- 9:45  | 対話的理性としての芸術—ハーバマスの『美的教育書簡』解釈— | 田口 博子 (白百合女子大) |
| 3. 9:50-10:10  | 「絆」と「しがらみ」—我汝哲学の継承のための試論—     | 小林 敬 (酪農学園大)   |
| 4. 10:15-10:35 | 宗教をつなぐものとしての禅                 | 峯岸 正典          |
| 5. 10:40-11:00 | J. ヒックの宗教多元主義における問題           | 南部千代里 (大正大)    |
| 6. 11:05-11:25 | マッキンタイアとデリダの大学論               | 橘田 直樹 (一橋大)    |
| 7. 11:30-11:50 | 視覚化と可触化による教材作成から宗教研究への循環の試み   | 土井 裕人 (筑波大)    |
| 8. 11:55-12:15 | 宗教学教育における初学者向けの人物考に関して        | 荻野 勝行 (大阪大谷大)  |

## 【午後】

パネル 井筒「東洋哲学」の地平と宗教研究	代表者：澤井 義次
13:15-15:15 「意識のゼロ・ポイント」とユング心理学	河東 仁 (立教大)
井筒「東洋哲学」と鈴木大拙	岩本 明美 (鈴木大拙館)
二つのイスマーイール派研究—井筒俊彦とアンリ・コルバン—	野元 晋 (慶大)
近代ユダヤ教正統主義におけるコスモスとアンチコスモス	市川 裕 (東大)
	コメンテーター・司会：澤井 義次 (天理大)

# 第3部会 (K206)

9月8日 (土)

## 【午前】

- |                |                                |               |
|----------------|--------------------------------|---------------|
| 1. 9:00- 9:20  | ロシア・旧ソ連圏における日本哲学研究の現状について      | 元春 智裕         |
| 2. 9:25- 9:45  | 田辺元の宗教哲学における罪の性質               | 浦井 聡 (京大)     |
| 3. 9:50-10:10  | 近代日本における「宗教と科学」ー清沢満之の場合ー       | 林 研 (大阪保健医療大) |
| 4. 10:15-10:35 | 清沢満之『臘扇記』における「意念」の内的構造         | 角田 佑一 (上智大)   |
| 5. 10:40-11:00 | 西谷啓治の「空の立場」における「假」の実在性         | 長岡 徹郎 (京大)    |
| 6. 11:05-11:25 | 死者の哲学はいかに可能かー田辺元「死の哲学」を手掛りとしてー | 竹花 洋佑 (大谷大)   |
| 7. 11:30-11:50 | 鈴木大拙の『大乘仏教概論』に関して              | 横田 理博 (九大)    |
| 8. 11:55-12:15 | 仏教經典の文学的観点からの研究ー和辻哲郎の視点を中心にー   | 山本栄美子 (東大)    |
| 9. 12:20-12:40 | 鈴木大拙・折口信夫・井筒俊彦ー「東方哲学」素描ー       | 安藤 礼二 (多摩美術大) |

## 【午後】

- |                |                              |               |
|----------------|------------------------------|---------------|
| 1. 14:00-14:20 | 後代の經典解釈書に及ぼした世親作『釈軌論』の影響     | 堀内 俊郎 (浙江大)   |
| 2. 14:25-14:45 | 南インドにおける終焉期の仏教ー野外石仏調査報告を中心にー | 高島 淳 (東京外国語大) |
| 3. 14:50-15:10 | 河口慧海と般若經                     | 庄司 史生 (立正大)   |
| 4. 15:15-15:35 | タイにおける「信教の自由」の確立に与えたキリスト教の影響 | 森島 豊 (青山学院大)  |
| 5. 15:40-16:00 | 世俗主義の弱いタイにおける宗教研究の現状         | 矢野 秀武 (駒大)    |

9月9日 (日)

## 【午前】

- |                |                               |                  |
|----------------|-------------------------------|------------------|
| 1. 9:00- 9:20  | 古代末期の新プラトン主義思想における宗教表象と宗教史の回顧 | 中西 恭子 (東大)       |
| 2. 9:25- 9:45  | アウグスティヌスの三位一体論における「ペルソナ」の重要性  | 平野和歌子 (神戸女学院大)   |
| 3. 9:50-10:10  | アンセルムスにおける「原罪」と「父祖たちの罪」       | 矢内 義頭 (早大)       |
| 4. 10:15-10:35 | フライベルクのディートリヒにおける認識論の構造       | 若松功一郎 (早大)       |
| 5. 10:40-11:00 | エイレナイオスとエックハルトーテオーシス思想の観点からー  | 田島 照久 (早大)       |
| 6. 11:05-11:25 | オッカムのウィリアムにおける原罪論             | 辻内 宣博 (早大)       |
| 7. 11:30-11:50 | クザーヌスにおける「対立の一致」と「等しさ」        | 徳田安津樹 (東大)       |
| 8. 11:55-12:15 | ピコの魔術思想における「比」の理論             | 比留間亮平 (東洋英和女学院大) |

## 【午後】 開催校特別企画②

- |             |                               |                   |
|-------------|-------------------------------|-------------------|
| パネル         | 人口減少時代における地域と寺院のあり方研究         | 代表者：木越 康          |
| 13:15-15:15 | 過疎地域と寺院のあり方に関する報告ー揖斐川町春日を中心にー | 藤元 雅文 (大谷大)       |
|             | 「過疎と寺院」問題をどう捉えるかーモビリティ論の視点からー | 徳田 剛 (大谷大)        |
|             | 過疎地域における寺檀関係の持続可能性            | 中條 暁仁 (静岡大)       |
|             |                               | コメンテータ：櫻井 義秀 (北大) |
|             |                               | 司会：木越 康 (大谷大)     |

# 第4部会 (K208)

9月8日(土)

## 【午前】

- |                |                                |               |
|----------------|--------------------------------|---------------|
| 1. 9:00-9:20   | 義と公正についての神学的一考察                | 上原 潔 (大阪産業大)  |
| 2. 9:25-9:45   | 「学問の無前提性」論争における神学と宗教学          | 小柳 敦史 (北海学園大) |
| 3. 9:50-10:10  | 初期理論における自然的宗教について              | 諸岡道比古 (弘前大)   |
| 4. 10:15-10:35 | シュライアマハーの『キリスト教信仰』の意図と問題点      | 安酸 敏真 (北海学園大) |
| 5. 10:40-11:00 | 「歴史を歴史によって克服する」ートレルチにおける歴史と信仰ー | 塩濱 健児 (北海学園大) |
| 6. 11:05-11:25 | カール・バルトとブルームハルト父子との神学的関わり      | 水口 隆司 (同志社大)  |
| 7. 11:30-11:50 | 薔薇十字文書の成立とその思想的背景              | シュルーター智子 (北大) |
| 8. 11:55-12:15 | 17世紀フランス神秘主義における十字架のヨハネ        | 渡辺 優 (天理大)    |
| 9. 12:20-12:40 | グランジェの典礼言語論ー語り出すものとしての教会ー      | 熊谷 友里 (東大)    |

## 【午後】

<b>パネル 真宗寺院の現状と展望ー浄土真宗本願寺派宗勢基本調査よりー</b>	代表者: 吉田 秀和
14:00-15:40 第10回宗勢基本調査からみる寺院の護持について	長岡 岳澄 (中央仏教学院)
寺院運営の形態と寺院護持の課題	山本 哲司 (龍大)
宗勢基本調査にみる寺院の護持・運営の問題点と展望	吉田 秀和 (龍大)
	コメンテータ: 中西 尋子 (関西大)
	司会: 長岡 岳澄 (中央仏教学院)

9月9日(日)

## 【午前】

- |                |                                    |               |
|----------------|------------------------------------|---------------|
| 1. 9:00-9:20   | (発表なし)                             |               |
| 2. 9:25-9:45   | (発表なし)                             |               |
| 3. 9:50-10:10  | (発表なし)                             |               |
| 4. 10:15-10:35 | サルペトリエール学派の医学的宗教研究とその社会史的 position | 田中 浩喜 (東大)    |
| 5. 10:40-11:00 | 近代前夜イギリス帝国における俗人の経済生活と宗教実践         | 清水 俊毅 (東大)    |
| 6. 11:05-11:25 | 西洋近世のメディアにおける魔女と社会的周縁者             | 黒川 正剛 (太成学院大) |
| 7. 11:30-11:50 | リマの異端審問                            | 谷口 智子 (愛知県立大) |
| 8. 11:55-12:15 | ペンテコスタリズムと伝統宗教                     | 野口 生也 (東京福祉大) |

## 【午後】

<b>パネル 近代の仏教思想と日本主義ー親鸞・禅・日蓮ー</b>	代表者: 名和 達宣
13:15-15:15 「親鸞と日本主義」再考ー曾我量深の波紋を通してー	名和 達宣 (真宗大谷派教学研究所)
親鸞とマルクス主義ー佐野学の転向問題を中心にー	近藤俊太郎 (龍大)
禅・華嚴と日本主義ー市川白弦と紀平正美の比較分析を通してー	飯島 孝良 (親鸞仏教センター)
「日蓮主義と日本主義」再考ー田中智学の問いを通してー	ユリア・ブレニナ (阪大)
	コメンテータ: 石井 公成 (駒大)
	司会: 名和 達宣 (真宗大谷派教学研究所)

# 第5部会 (K209)

9月8日 (土)

## 【午前】

- 9:00- 9:20 (発表なし)
- 9:25- 9:45 (発表なし)
- 9:50-10:10 死を巡る場と宗教共同体ー原始キリスト教と墓を軸としてー 土居 由美 (東大)
- 10:15-10:35 キリスト教死者供養祈祷の儀礼史ーK. マッカルをとおしてー 中里 巧 (東洋大)
- 10:40-11:00 ジャンケレヴィッチにとって死とは何かー死を語る、死者を語るー 奥堀亜紀子 (日本学術振興会)
- 11:05-11:25 タルコット・パーソンズと死の近代ーキリスト教社会の死生観ー 大黒 正伸 (創価大)
- 11:30-11:50 ヘンリ・ナウエンの死に直面している者への希望の理解の考察 武田 厚子 (立教大)
- 11:55-12:15 北米心理学における宗教研究ー死関連の理論的問題を中心にー イーリヤ・ムスリン (日大)
- 12:20-12:40 死者への敬意の基礎づけは可能かー死者倫理と宗教哲学ー 佐藤 啓介 (南山大)

## 【午後】

- 14:00-14:20
- 14:25-14:45
- 14:50-15:10 (発表なし)
- 15:15-15:35
- 15:40-16:00

9月9日 (日)

## 【午前】

- 9:00- 9:20 小ガイバ期のイマーム派における極端派認識の発展 平野 貴大 (東大)
- 9:25- 9:45 スフラワルディーによる無限の理念について 小野 純一 (東洋大)
- 9:50-10:10 「魂」(nafs) をめぐるイブン・アラビーの思想 相楽 悠太 (東大)
- 10:15-10:35 イブン・アラビー思想における人間論 澤井 真 (京大)
- 10:40-11:00 建国思想としての勸善懲悪ーサウジアラビアとイランを事例にー 高尾賢一郎 (東京外国語大)
- 11:05-11:25 イスラーム信仰深化構造とワッハーブ「三つの原理」 四戸 潤弥 (同志社大)
- 11:30-11:50 歴史的文脈上のアーザル・カイヴァーン学派 青木 健 (静岡文化芸術大)
- 11:55-12:15 アマル・ダスとシク教団成立ーその思想と社会背景ー 保坂 俊司 (中央大)

## 【午後】

パネル 身心変容技法と霊的暴力ー負の感情処理のワザの考究ー	代表者：鎌田 東二
13:15-15:15 身心変容技法と霊的暴力の問題ーオウム真理教事件を踏まえてー	鎌田 東二 (上智大)
キリスト教における身心変容技法と霊的暴力	鶴岡 賀雄 (南山宗教文化研究所)
テーラワダ仏教における身心変容技法と霊的暴力	井上ウイマラ (高野山大)
チベット密教における身心変容技法と霊的暴力	永澤 哲 (京都文教大)
近代日本の宗教における身心変容技法と霊的暴力	島菌 進 (上智大)
	司会：鎌田 東二 (上智大)

# 第6部会 (K210)

9月8日 (土)

## 【午前】

- 9:00- 9:20 (発表なし)
- 9:25- 9:45 ミシュナにおける意図—ユダヤ法規再考— 櫻井 丈 (大妻女子大)
- 9:50-10:10 マイモニデスと商業契約文書 嶋田 英晴 (國學院大)
- 10:15-10:35 マイモニデスの「否定神学」を再考する 法貴 遊 (日本學術振興会)
- 10:40-11:00 アブラハム・アブラフィアにおける粗雑な「三つの指輪の物語」 志田 雅宏 (日本學術振興会)
- 11:05-11:25 ユダヤ法は宗教か政治か—17世紀ベネチアのユダヤ人統治から— 李 美奈 (東大)
- 11:30-11:50 ヨーゼフ・カルレバハとフランツ・ローゼンツヴァイク 丸山 空大 (東京外国語大)
- 11:55-12:15 1920年代米国の改革派ユダヤ教の特殊性—そのシオニズム的傾向— 石黒 安里 (同志社大)
- 12:20-12:40 ラビ・ユダヤ教文献における「民」「民衆」 勝又 悦子 (同志社大)

## 【午後】

パネル 没後100年からの井上円了研究に向けて	代表者：井関 大介
14:00-15:40 円了妖怪学の再検討	井関 大介 (東洋大)
進化論受容者としての井上円了	クリントン・ゴダール (東北大)
井上円了から修身教会運動への視座	出野 尚紀 (東洋大)
井上円了における「哲学」概念の再考—「哲学宗」を中心にして—	長谷川琢哉 (親鸞仏教センター)
	司会：長谷川琢哉 (親鸞仏教センター)

9月9日 (日)

## 【午前】

- 9:00- 9:20 (発表なし)
- 9:25- 9:45 (発表なし)
- 9:50-10:10 「カインとアベル」物語における曖昧さと両義性 岩寄 大悟 (関西学院大)
- 10:15-10:35 ユダヤ教とキリスト教の罪認識—金の子牛像事件を例として— 大澤 耕史 (中京大)
- 10:40-11:00 申命記6章4-5節の解釈と年代 高橋 優子 (酪農学園大)
- 11:05-11:25 古代アナトリアのヒッタイトにおける「不浄」について 山本 孟 (同志社大)
- 11:30-11:50 メソポタミアの儀礼研究 細田あや子 (新潟大)
- 11:55-12:15 メソポタミアのシャーマニズム—アーシブの検討を中心に— 渡辺 和子 (東洋英和女学院大)

## 【午後】

パネル 東西を往還する日本仏教—鈴木大拙とその周辺—	代表者：守屋 友江
13:15-15:15 Eastern Buddhist 第1期の購読者リストについて	日沖 直子 (南山宗教文化研究所)
千崎如幻の米国禪布教における特質—浮遊禪堂と東漸禪窟の実態—	末村 正代 (関西大)
鈴木大拙と岡倉覚三—英語圏に伝えられた禅と日本文化—	岡本 佳子 (国際基督教大)
アメリカ人に説く禅と真宗—鈴木大拙の在米講演に関する考察—	守屋 友江 (阪南大)
	コメンテータ・司会：吉永 進一 (舞鶴高専)

# 第7部会 (K211)

9月8日(土)

## 【午前】

- |                |                                |                |
|----------------|--------------------------------|----------------|
| 1. 9:00-9:20   | 江戸時代の宇宙観と西洋天文学の受容              | 馬場真理子(東大)      |
| 2. 9:25-9:45   | 中江藤樹の山田権への教え                   | 鈴木 保實          |
| 3. 9:50-10:10  | 氏姓・天皇・政一本居宣長の描いた古の社会秩序         | 河合 一樹(筑波大)     |
| 4. 10:15-10:35 | 『神代正語』の構造一本居宣長の「古伝」の構想         | 森 和也(中村元東方研究所) |
| 5. 10:40-11:00 | 文政期の平田国学—著述と活動の特質について—         | 遠藤 潤(國學院大)     |
| 6. 11:05-11:25 | 近世日本儒者における儒仏混淆的喪礼論の展開          | 松川 雅信(立命館大)    |
| 7. 11:30-11:50 | 疑似儒教としての神道—17世紀中後期幕藩領主層の思想と実践— | 井上 智勝(埼玉大)     |
| 8. 11:55-12:15 | 食行身禄『添書』諸写本の比較                 | 大谷 正幸          |
| 9. 12:20-12:40 | 富士講系教派神道実行教の明治期朝鮮・台湾開教         | 今井 功一          |

## 【午後】

- |                |                                |             |
|----------------|--------------------------------|-------------|
| 1. 14:00-14:20 | 足摺山の改祭について                     | 黒田 宗篤(皇學館大) |
| 2. 14:25-14:45 | 「元寇記念碑」設置運動にみる明治期日本の顕彰と慰霊      | 高瀬 航平(東大)   |
| 3. 14:50-15:10 | 近代の国葬をめぐる諸相と神官葬儀不関与            | 大番 彩香(國學院大) |
| 4. 15:15-15:35 | 近代における神社祭祀と宮中年中行事              | 竹内 雅之(國學院大) |
| 5. 15:40-16:00 | 明治・大正天皇の代替わりと神社界—神道系雑誌の分析を中心に— | 原田 雄斗(一橋大)  |

9月9日(日)

## 【午前】

- |                |                                |                 |
|----------------|--------------------------------|-----------------|
| 1. 9:00-9:20   | 明治初期キリシタン集落における葬儀に対する考察        | 内藤 幹生(千葉県文書館)   |
| 2. 9:25-9:45   | 金子白夢牧師の思想形成について                | 菅原 研州(愛知学院大)    |
| 3. 9:50-10:10  | 明治前期における仏教者のキリスト教観—『明教新誌』を中心に— | 星野 靖二(國學院大)     |
| 4. 10:15-10:35 | 「勤王僧」の贈位と顕彰                    | 高橋 秀慧(大正大)      |
| 5. 10:40-11:00 | 小谷部全一郎のアイデンティティ—日本、キリスト教、人物像—  | 葛西 賢太(宗教情報センター) |
| 6. 11:05-11:25 | 浮田和民と教育                        | 森上 優子(文部科学省)    |
| 7. 11:30-11:50 | 安部晴明の近代像—陰陽道イメージの展開—           | 小池 淳一(国立歴史民俗)   |
| 8. 11:55-12:15 | 相撲と女人禁制                        | 鈴木 正崇(慶大)       |

## 【午後】

- |             |                               |              |
|-------------|-------------------------------|--------------|
| パネル         | 現代世界における「宗教性」の変容—日本と中国の事例から—  | 代表者：長谷千代子    |
| 13:15-15:15 | 現代世界における「宗教性」の変容—研究視点と展望—     | 長谷千代子(九大)    |
|             | 日本の公的慰霊における脱色された宗教性とその担い手     | 西村 明(東大)     |
|             | 久高島における巡礼ツーリストとヴァナキュラーな宗教性    | 門田 岳久(立教大)   |
|             | 現代中国における儒教と「宗教性」              | 川口 幸大(東北大)   |
|             | 現代中国の「生態文化」言説とチベット人の「環境主義」的实践 | 別所 裕介(駒大)    |
|             |                               | 司会：別所 裕介(駒大) |

# 第8部会 (K407)

9月8日(土)

## 【午前】

- |                |                                |                    |
|----------------|--------------------------------|--------------------|
| 1. 9:00-9:20   | 親鸞における第二十願の意義                  | 樋口 大慈 (大谷大)        |
| 2. 9:25-9:45   | 親鸞の反切について                      | 永原 智行              |
| 3. 9:50-10:10  | 親鸞の真仏弟子観—『涅槃経』引用文を中心として—       | 蟹谷 誓 (龍大)          |
| 4. 10:15-10:35 | 親鸞の「帰本願」について—回心と行信の一念との関係を通して— | 常塚 勇哲 (大谷大)        |
| 5. 10:40-11:00 | 親鸞思想における「如来」の意味                | 岩田 香英 (大谷大)        |
| 6. 11:05-11:25 | 親鸞の儒教観                         | 水岡 知典 (龍大)         |
| 7. 11:30-11:50 | 世雄の悲—「真仏土巻」所引『大経』と『涅槃経』との呼応—   | 松岡 淳爾 (大谷大)        |
| 8. 11:55-12:15 | 初期真宗における還相回向の研究                | 徳平 美月 (龍大)         |
| 9. 12:20-12:40 | 覚如と浄土異流                        | 渥美 光 (浄土真宗本願寺派宗学院) |

## 【午後】

- |                |                    |                    |
|----------------|--------------------|--------------------|
| 1. 14:00-14:20 | 武内義範『教行信証の哲学』と三願転入 | 庄野 龍眞 (明大)         |
| 2. 14:25-14:45 | 真宗における執心に関して       | 杉田 了 (浄土真宗本願寺派宗学院) |
| 3. 14:50-15:10 | 真宗教学の根本問題—信心と心理—   | 岡林 俊希              |
| 4. 15:15-15:35 | 双鉤墳墓による名号の真宗的意義    | 安藤 章仁 (早大)         |
| 5. 15:40-16:00 | 真宗伝道と法的諸問題         | 奥田 桂寛 (龍大)         |

9月9日(日)

## 【午前】

- |                |                           |                  |
|----------------|---------------------------|------------------|
| 1. 9:00-9:20   | (発表なし)                    |                  |
| 2. 9:25-9:45   | 明遍作『行者大要鈔』について            | 那須 一雄            |
| 3. 9:50-10:10  | 円珍『法華論記』における『六祖壇経』の依用について | 浅野 学 (国際仏教学大学院大) |
| 4. 10:15-10:35 | 源信における弥勒信仰の受容について         | 廣澤彌々子 (龍大)       |
| 5. 10:40-11:00 | 厳島のポータルカー海上社殿はいかにして成立したか— | 山崎 好裕 (福岡大)      |
| 6. 11:05-11:25 | 道範の三点説について                | 佐藤 もな (帝京高等看護学院) |
| 7. 11:30-11:50 | 鎌倉後期の仏教思想—舍利信仰をめぐって—      | 高松世津子 (名大)       |
| 8. 11:55-12:15 | 『止観坐禅記』再考                 | 高柳さつき (中村元東方研究所) |

## 【午後】

- |             |                                   |                       |
|-------------|-----------------------------------|-----------------------|
| パネル         | 戦後日本の宗教者平和運動のトランスナショナル・ヒストリー      | 代表者：大谷 栄一             |
| 13:15-15:15 | 戦後の日中友好運動と中濃教篤—日中仏教交流懇談会を中心に—     | 坂井田夕起子 (愛知大)          |
|             | 世界連邦主義と大本—前進と振じれの平和運動—            | 永岡 崇 (阪大)             |
|             | 核廃絶と日本宗教—ICAN と SGI・WCRP の関係を中心に— | 塚田 穂高 (上越教育大)         |
|             | 戦争とキリスト教—肯定・協力の構造と抵抗のネットワーク—      | 一色 哲 (帝京科学大)          |
|             |                                   | コメンテータ・司会：大谷 栄一 (佛教大) |

# 第9部会 (K408)

9月8日 (土)

## 【午前】

- |                |                               |                  |
|----------------|-------------------------------|------------------|
| 1. 9:00- 9:20  | 近代仏教研究の発展と一次資料の整備             | 武井 謙悟 (駒大)       |
| 2. 9:25- 9:45  | 境野黄洋と新真宗-1890年代における仏教言説の一側面-  | 呉 佩遥 (東北大)       |
| 3. 9:50-10:10  | 近代仏教における律僧の表象-釈雲照を中心として-      | 亀山 光明 (東北大)      |
| 4. 10:15-10:35 | 仏教の社会事業と諸宗派協力-明治期の更生保護事業を中心に- | 井川 裕覚 (上智大)      |
| 5. 10:40-11:00 | 和田幽玄の社会事業-関東中学設立を中心に-         | 中川剛マックス (愛知学院大)  |
| 6. 11:05-11:25 | 『ひかりの国』の家族-金子大榮による物語-         | 東 真行 (大谷大)       |
| 7. 11:30-11:50 | 世紀転換期の村上専精における宗教と倫理の領域        | オリオン・クラウタウ (東北大) |
| 8. 11:55-12:15 | 清沢満之「俗諦と道徳の交渉」からみえてくるもの       | 川口 淳 (大谷大)       |
| 9. 12:20-12:40 | 清沢満之における死生観-『保養雑記』第一篇を中心に-    | 西本 祐攝 (大谷大)      |

## 【午後】

- |                |                               |             |
|----------------|-------------------------------|-------------|
| 1. 14:00-14:20 | 宮沢賢治の菜食主義-田中智学との比較から-         | 牧野 静 (筑波大)  |
| 2. 14:25-14:45 | 近代真宗における教義の英訳と中井玄道            | 嵩 宣也 (龍大)   |
| 3. 14:50-15:10 | 黒田真洞『大乘佛教大意』の欧米への影響-藤島了穂との比較- | 鷹司 誓榮 (佛教大) |
| 4. 15:15-15:35 | 大正期における出版メディアと親鸞像             | 大澤 絢子 (龍大)  |
| 5. 15:40-16:00 | 1940年の日本万国博覧会・オリンピックと仏教界      | 大澤 広嗣 (文化庁) |

9月9日 (日)

## 【午前】

- |                |                               |              |
|----------------|-------------------------------|--------------|
| 1. 9:00- 9:20  | (発表なし)                        |              |
| 2. 9:25- 9:45  | (発表なし)                        |              |
| 3. 9:50-10:10  | 日蓮における「一念三千」-「己心」解釈も含めて-      | 間宮 啓壬 (身延山大) |
| 4. 10:15-10:35 | 日蓮教学の五義における「教」について-佐渡期を中心として- | 深谷 恵子 (立正大)  |
| 5. 10:40-11:00 | 慶林坊日隆教学における一考察-本門八品の視点から-     | 山下 宗秀 (立正大)  |
| 6. 11:05-11:25 | 広蔵院日辰の本迹論に関する一考察              | 神田 大輝 (立正大)  |
| 7. 11:30-11:50 | 近世・近代日蓮絵伝記の種類について             | 望月 真澄 (身延山大) |
| 8. 11:55-12:15 | 姉崎正治と日蓮                       | 三輪 是法 (身延山大) |

## 【午後】

- |             |                               |                 |
|-------------|-------------------------------|-----------------|
| パネル         | 技術社会と宗教-人工知能の実装化が持つ宗教的意義について- | 代表者: 木村 武史      |
| 13:15-15:15 | 人工知能の実装化と宗教学の課題               | 木村 武史 (筑波大)     |
|             | 人工知能の「尊厳」の考察                  | 小原 克博 (同志社大)    |
|             | 米国電気電子学会「自律・知能システムの古典倫理」と仏教倫理 | 師 茂樹 (花園大)      |
|             | 人工知能の身体観に関わる諸問題               | 永原 順子 (阪大)      |
|             | 人工知能と生死 (せいし) 観               | 濱田 陽 (帝京大)      |
|             |                               | 司会: 木村 武史 (筑波大) |



# 第10部会 (K409)

9月8日(土)

## 【午前】

- |                |                               |               |
|----------------|-------------------------------|---------------|
| 1. 9:00-9:20   | 日本人の臨死体験と他界観—不可知の一人称の“死”への接近— | 岩崎 美香 (明大)    |
| 2. 9:25-9:45   | 祖先崇拜と先祖供養—近代以降の先祖をめぐる学説について—  | 徳野 崇行 (駒大)    |
| 3. 9:50-10:10  | 新生活運動と葬儀の変容—行政の意図と地域の対応—      | 大場 あや (大正大)   |
| 4. 10:15-10:35 | イギリス自然葬の出現と普及—自然葬申込者の視点から—    | 内田 安紀 (筑波大)   |
| 5. 10:40-11:00 | 日本正教会の死者を巡る実践—「死者の記憶」に注目して—   | 佐崎 愛 (東北大)    |
| 6. 11:05-11:25 | 台湾における「水子供養」の展開と民間知識人の役割      | 陳 宣聿 (東北大)    |
| 7. 11:30-11:50 | 墓癖と墓参の間                       | 土居 浩 (ものづくり大) |
| 8. 11:55-12:15 | 現代における山岳修行とモノ                 | 天田 顕徳 (東京工芸大) |
| 9. 12:20-12:40 | 20年間の学生宗教意識調査から読み取れるマスメディアの影響 | 井上 順孝 (國學院大)  |

## 【午後】

- |                |                        |                  |
|----------------|------------------------|------------------|
| 1. 14:00-14:20 | 老いと浄土真宗—老苦に対するケア—      | 柱本 惇 (龍大)        |
| 2. 14:25-14:45 | 臨終における「仏像をみる」ことについて    | 神居 文彰 (佛教大)      |
| 3. 14:50-15:10 | 葬送における死者の表象—禅宗清規の事例から— | 金子 奈央 (中村元東方研究所) |
| 4. 15:15-15:35 | 白山—加賀馬場筋記—             | 小林 一葵            |
| 5. 15:40-16:00 | 仏教儀礼論構築への諸問題           | 小野 真龍 (龍大)       |

9月9日(日)

## 【午前】

- |                |                         |                   |
|----------------|-------------------------|-------------------|
| 1. 9:00-9:20   | (発表なし)                  |                   |
| 2. 9:25-9:45   | (発表なし)                  |                   |
| 3. 9:50-10:10  | (発表なし)                  |                   |
| 4. 10:15-10:35 | 提婆達多の流派について             | 筒井 奈々             |
| 5. 10:40-11:00 | アティシヤの『マントラ義入』について      | 望月 海慧 (身延山大)      |
| 6. 11:05-11:25 | パーリ仏教文献における殺生と自殺に関する道德観 | 川本 佳苗 (京大)        |
| 7. 11:30-11:50 | 灌頂撰『大般涅槃經玄義』における「宗」について | 山本 泰照 (国際仏教学大学院大) |
| 8. 11:55-12:15 | 湛然教学の諸問題                | 長倉 信祐 (富士学林)      |

## 【午後】

- |                         |               |
|-------------------------|---------------|
| パネル 世界8か国における共通の宗教性と宗教度 | 代表者：川端 亮      |
| 13:15-15:15 調査の概要と発見    | 川端 亮 (阪大)     |
| 宗教間競争と信教の自由             | 渡辺 光一 (関東学院大) |
| 普遍宗教と地球倫理               | 檜尾 直樹 (慶大)    |
| 宗教的であることと幸福であること        | 弓山 達也 (東京工業大) |
| 宗教と戦争                   | 星川 啓慈 (大正大)   |
|                         | 司会：川端 亮 (阪大)  |

# 第11部会 (K410)

9月8日(土)

## 【午前】

- |                |                                |                       |
|----------------|--------------------------------|-----------------------|
| 1. 9:00- 9:20  | V. E. フランクルのロゴセラピーと宗教性         | 妹尾 美加 (神戸女学院大)        |
| 2. 9:25- 9:45  | 韓国における安楽死と尊厳死ー「死ぬ権利」と「死ぬ義務」ー   | 澁上 恭子                 |
| 3. 9:50-10:10  | アメリカにおける宗教的生命倫理言説の位置づけ         | 藤枝 真 (大谷大)            |
| 4. 10:15-10:35 | 賀川豊彦のハンセン病観ー患者とその文芸に対するかかわりからー | 松岡 秀明 (東京医科歯科大)       |
| 5. 10:40-11:00 | スタンリー・ハワーラスと「いのちの思想」           | 安藤 泰至 (鳥取大)           |
| 6. 11:05-11:25 | 医療におけるスピリチュアリティと信仰ー「生き通しのいのち」ー | 半田 栄一 (中央大)           |
| 7. 11:30-11:50 | 移植医療における人間観                    | エンリック・ウゲット=カニャメロ (北大) |
| 8. 11:55-12:15 | 超高齢社会における僧侶の新たな役割ー月忌まいりから考えるー  | 小川 有閑 (大正大)           |
| 9. 12:20-12:40 | 宗教におけるキュアとケア                   | 宮本要太郎 (関西大)           |

## 【午後】

パネル	西田幾多郎未公開ノートの研究資料化ー「宗教学講義」を中心にー	代表者：浅見 洋
14:00-16:00	水損ノートの修復方針と修復作業について	浅見 洋 (石川県西田幾多郎記念哲学館)
	修復ノートの翻刻作業方針と実施方法について	中嶋 優太 (石川県西田幾多郎記念哲学館)
	久松編集「宗教学」と西田直筆ノートとの異同をめぐって	満原 健 (奈良県立大)
	忘れられた著者たちとの対決ー「宗教学講義ノート」翻刻よりー	吉野 斉志 (京大)
		コメンテータ：秋富 克哉 (京都工芸繊維大)
		司会：浅見 洋 (石川県西田幾多郎記念哲学館)

9月9日(日)

## 【午前】

- |                |                         |             |
|----------------|-------------------------|-------------|
| 1. 9:00- 9:20  | (発表なし)                  |             |
| 2. 9:25- 9:45  | 悪霊論ー高橋信次をめぐってー          | 長谷 瑞光       |
| 3. 9:50-10:10  | カルト宗教と協力聖職者問題           | 別府 良孝       |
| 4. 10:15-10:35 | 西山茂著『近現代の法華仏教』を読む       | 笠井 正弘       |
| 5. 10:40-11:00 | 日本におけるエホバの証人をめぐる新聞報道の分析 | 山口 瑞穂 (佛教大) |
| 6. 11:05-11:25 | 天理よろづ相談所「憩の家」事情部と聖地「ぢば」 | 深谷 耕治 (天理大) |
| 7. 11:30-11:50 | ぢばと“聖地”ー天理教の救いについてのー考察ー | 堀内みどり (天理大) |
| 8. 11:55-12:15 | 『三縁事』における心理的展開          | 太田 俊明       |

## 【午後】

パネル	大学内宗教者養成の歴史・制度・実態に関する調査報告	代表者：江島 尚俊
13:15-15:15	統計調査からみる戦後日本の宗教系大学	江島 尚俊 (田園調布学園大)
	國學院大學・皇學館大学における神職養成について	藤本 頼生 (國學院大)
	大学はいかに僧侶を養成するのかー仏教系大学の養成とその類型ー	武井 順介 (立正大)
	キリスト教系大学における聖職者養成ー制度比較にもとづく分析ー	齋藤 崇徳 (大学改革支援・学位授与機構)
		コメンテータ：原 誠 (同志社大)
		司会：江島 尚俊 (田園調布学園大)

# 第12部会 (K411)

9月8日 (土)

## 【午前】

- 9:00- 9:20 (発表なし)
- 9:25- 9:45 日本植民地時代における台湾の宗教調査と宗教政策 李 争融 (創価大)
- 9:50-10:10 植民地朝鮮における日本人宗教者に関する基礎的調査研究 金 泰勲 (四国学院大)
- 10:15-10:35 神社神道による地域活動の諸相ー富山県神道青年会を事例にー 冬月 律 (モラルロジー研究所)
- 10:40-11:00 人神信仰の多様性ー福の神になった人たちー 劉 建華 (東北大)
- 11:05-11:25 柳田国男と社会科に関して 富田 信隆 (駒大)
- 11:30-11:50 奄美沖縄の一身二靈魂観念についてー胎児霊の存在をめぐってー 加藤 正春 (ノートルダム清心女子大)
- 11:55-12:15 沖縄の梵字碑と石敢當 鈴木 一馨 (中村元東方研究所)
- 12:20-12:40 柳田國男「人を神に祀る風習」から考える戦死者祭祀 由谷 裕哉 (小松短大)

## 【午後】

<b>パネル 宗教者のケア、ケア者の宗教性ー川崎市調査からー</b>	代表者：堀江 宗正
14:00-16:00 都市における宗教施設による地域活動の実態	高瀬 顕功 (大正大)
在日大韓基督教川崎教会の歴史と社会活動の歩み	荻 翔一 (東洋大)
ケアとスピリチュアリティー川崎市のケア提供者の調査からー	堀江 宗正 (東大)
ケア人材が語るケアの困難・喜び・支え	寺戸 淳子 (専修大)
	コメンテータ：星野 壮 (大正大)
	司会：堀江 宗正 (東大)

9月9日 (日)

## 【午前】

- 9:00- 9:20 モダニズムとフェミニズムーキリスト教女性司祭論に寄せてー 近藤喜重郎 (東海大)
- 9:25- 9:45 武州御岳山の宿坊における女性家族の役割 高田 彩 (大正大)
- 9:50-10:10 仏教婦人会を基盤としたビハーラ活動が持つ意義 猪瀬 優理 (龍大)
- 10:15-10:35 日本人最初のムスリムたちとその研究活動・業績について調査研究 阿里木托和提 (東北大)
- 10:40-11:00 地域社会創生の場におけるイスラーム理解ー山梨県の場合ー 小村 明子 (立教大)
- 11:05-11:25 東北大学におけるムスリム留学生向けの礼拝施設設置の現状と課題 アンディ・ホリック・ラムダニ (東北大)
- 11:30-11:50 日本の国立大学におけるムスリム学生の礼拝空間をめぐるとりくみ 岩崎 真紀 (東洋大)
- 11:55-12:15 ムスリムアイデンティティの普遍化と規範の一律化をめぐって 八木久美子 (東京外国語大)

## 【午後】

<b>パネル 暦を通して宗教史を語りなおす</b>	代表者：林 淳
13:15-15:15 渋川春海「日本長暦」の影響	林 淳 (愛知学院大)
梵暦運動と宿曜道・仏暦ー暦から見る近代仏教史ー	岡田 正彦 (天理大)
近代における編暦と頒暦	下村 育世 (東洋大)
海外日系人社会における宗教カレンダーの歴史	中牧 弘允 (国立民博)
	コメンテータ：對馬 路人
	司会：林 淳 (愛知学院大)

# 第13部会 (K405)

9月8日 (土)

## 【午前】

- |                |                                |                 |
|----------------|--------------------------------|-----------------|
| 1. 9:00-9:20   | 文化としての韓国巫俗—巫俗を正当化するための論理—      | 新里 喜宣 (日本学術振興会) |
| 2. 9:25-9:45   | 韓国の恨言説—60年代の民族的恨言説の誕生について—     | 古田 富建 (帝塚山学院大)  |
| 3. 9:50-10:10  | チベットの護符とリンチェン・テルズー             | 津曲 真一 (大東文化大)   |
| 4. 10:15-10:35 | 仏教誌『アナンダ・プーミ』にみるネパール近代仏教の展開    | 工藤さくら (東北大)     |
| 5. 10:40-11:00 | ミエン・ヤオ族の浄化儀礼に関する考察             | 廣田 律子 (神奈川大)    |
| 6. 11:05-11:25 | 北タイ、チェンマイの「師」(khu) 信仰の現代的展開    | 福浦 一男 (桐蔭横浜大)   |
| 7. 11:30-11:50 | インドのカトリック教会の秘跡に見られる土着性と普遍性     | 岡光 信子 (中央大)     |
| 8. 11:55-12:15 | シンガポール公営団地の儀礼空間                | 高棹 健太 (東北大)     |
| 9. 12:20-12:40 | マレーシアのタミル移民とヒンドゥー寺院—司祭の問題を中心に— | 山下 博司 (東北大)     |

## 【午後】

<b>パネル 仏教と近代アジア—教団・教育・教養—</b>	代表者：何 燕生
14:00-15:40 日本統治時代の台湾仏教教育における日本の影響	林 佩瑩 (輔仁大)
仏教知の近代的創出—支那内学院を事例として—	沈 庭 (武漢大)
越境する「日本仏教」—近代中国仏教教育における大谷大学—	何 燕生 (郡山女子大)
「多様な近代」の中の仏教—インドネシアにおける仏教教団—	木村 敏明 (東北大)
	司会：木村 敏明 (東北大)

9月9日 (日)

## 【午前】

- |                |                                |                    |
|----------------|--------------------------------|--------------------|
| 1. 9:00-9:20   | 怪異文化の活用について                    | 古山 美佳 (國學院大)       |
| 2. 9:25-9:45   | 武道と宗教の関係再考—極真空手と三峰山を事例として—     | マテヤ・ジャビェク (筑波大)    |
| 3. 9:50-10:10  | メトロポリス東京における宗教空間—曹洞宗の禅寺を事例として— | 段 壹文 (筑波大)         |
| 4. 10:15-10:35 | ゲーテの文学における「祈り」                 | エヴェリン・ツグラッゲン (創価大) |
| 5. 10:40-11:00 | 映画・舞台『幕が上がる』における喪失とブッダ入滅後の仏教   | 三浦 宏文 (実践女子大短大部)   |
| 6. 11:05-11:25 | 児童文学における女神・妖精・魔女の表象            | 大澤千恵子 (東京学芸大)      |
| 7. 11:30-11:50 | ゴッホの《開かれた聖書のある静物》における分身性       | 正田 倫顕              |
| 8. 11:55-12:15 | 岡本太郎撮影《久高島・大御嶽》16カットとヒエロファニー   | 佐々木秀憲 (川崎市岡本太郎美術館) |

## 【午後】

<b>パネル キリスト教殉教と歴史的記憶</b>	代表者：カルラ・トロソ
13:15-15:15 マカバイ殉教者を記憶する初代教会の思想	浅野 淳博 (関西学院大)
キリシタン時代における殉教の理解と記憶	狭間 芳樹 (大谷大)
日本の殉教者の歴史的記憶と宗教的アイデンティティ	カルラ・トロソ (京大)
現代日本における殉教論と歴史的記憶	芦名 定道 (京大)
	コメンテータ：岩野 祐介 (関西学院大)
	司会：狭間 芳樹 (大谷大)

# 第14部会 (K406)

9月8日(土)

## 【午前】

1. 9:00-9:20 (発表なし)
2. 9:25-9:45 マヤ司祭-グアテマラ先住民の宗教文化- 大村 哲夫(東北大)
3. 9:50-10:10 キューバにおけるヨルバ系宗教のアフリカ回帰主義的動向 井上 大介(創価大)
4. 10:15-10:35 アメリカ合衆国の「キリスト教国論」-トランプ政権下の新動向- 佐藤 清子(成城大)
5. 10:40-11:00 キリスト教の人類学(Anthropology of Christianity)の現在 村上 辰雄(上智大)
6. 11:05-11:25 メディアイメージにおける寺院側の対応-柴又帝釈天の場合- 小高 絢子(筑波大)
7. 11:30-11:50 パールシーとイラン-故郷という観光地- 香月 法子(中央大)
8. 11:55-12:15 トルコにおける「信仰ツーリズム」-世俗主義とイスラームの間- 佐島 隆(大阪国際大)
9. 12:20-12:40 現代宗教論からみた宗教ツーリズム研究 山中 弘(筑波大)

## 【午後】

1. 14:00-14:20
2. 14:25-14:45
3. 14:50-15:10 (発表なし)
4. 15:15-15:35
5. 15:40-16:00

9月9日(日)

## 【午前】

1. 9:00-9:20 (発表なし)
2. 9:25-9:45 (発表なし)
3. 9:50-10:10 (発表なし)
4. 10:15-10:35 水路等公共用地維持に伴う社寺地の諸問題 山田 親義(埼玉大)
5. 10:40-11:00 臨床宗教師という名称の意義-研修修了者へのインタビューから- 張 晨陽(東北大)
6. 11:05-11:25 東日本大震災の記憶をめぐる仏教者の役割-陸前高田市の場合- 金沢 豊(龍大)
7. 11:30-11:50 相馬真宗寺院に見る震災7年 御手洗隆明(真宗大谷派教学研究部)
8. 11:55-12:15 創価学会の震災対応-相双地区の会員の語りから- 寺田 喜朗(大正大)

## 【午後】

パネル	宗教施設を地域資源とした地域防災のアクションリサーチ	代表者: 稲場 圭信
13:15-15:15	宗教施設と地域防災との関係認識の多様性とその要因	黒崎 浩行(國學院大)
	被災寺院が支援者として機能するために必要な外部支援	宮坂 直樹(浄土宗総合研究所)
	東日本大震災被災地から窺える地域における寺院・僧侶への期待	藤森 雄介(淑徳大)
	公共空間における宗教の新たな連携	稲場 圭信(阪大)
		コメンテータ: 今岡 達雄(浄土宗総合研究所)
		司会: 稲場 圭信(阪大)

## 『宗教研究』別冊用要旨 作成と提出の注意

大会HPからダウンロードした『宗教研究』92巻別冊要旨・入力ファイル」(Word)に入力し、9月14日までに、添付ファイルで送信してください。

9月14日までに送信されなかった場合は、掲載不可となりますので、ご注意ください。

『宗教研究』別冊への掲載は、発表を行い、以下①②を満たした方に限ります。

- ① 9月14日までに、『宗教研究』92巻別冊要旨・入力ファイル」に入力した要旨をメールの添付ファイルで送信し、
  - ② 提出原稿の書式が、規定にそっている方
- パネル発表は、代表者が発表者全員分をとりまとめて送信してください。

- ① 作成と提出方法 締切日：9月14日 (受付開始：8月20日)  
送信先：『宗教研究』編集委員会 ja-religion@mub.biglobe.ne.jp

大会HPの「別冊要旨・入力ファイル」のバーから、『宗教研究』92巻別冊要旨・入力ファイル」(Word)をダウンロードし、

- ・1頁目 発表題目、発表者名、欧文タイトル、発表者名のローマ字表記 を入力
- ・2頁目 要旨 を入力

添付ファイルで送信してください。メールを受信した時は、必ず返信を出します。

メールの件名と添付ファイルの名前：別冊要旨 発表者名 例：別冊要旨 鈴木花子

### ② 提出原稿の書式

縦書き 40字×40行以内(総文字数ではありません) 用紙：A4横  
文字サイズ：10.5ポイント 邦文のフォント：MS明朝(ゴシック・太字の使用は不可)  
入力ファイルのページ設定の変更は不可

縦書きのため、邦文中の数字は、原則、漢数字を用いる。常用漢字、現代仮名づかいを用いる。  
注記、参考文献は、要旨中に丸括弧で挿入する。図表等の掲載は不可。  
日本語が母語でない方は、必ず、日本語上の精査を受けてください。

#### ・欧文タイトル

英語の場合は、邦文題目に照らして、ネイティブスピーカーが手を加えることがあります。

#### ・パネル発表

「パネルの主旨とまとめ」(代表者)、「発表要旨」(発表者)、「コメント」(コメンテータ)を提出することを原則とする。いずれも40字×40行以内。

日本語以外の発表があった場合は、代表者の責任で、日本語の要旨を提出してください。

「パネルの主旨とまとめ」、「パネルの欧文タイトル」は、代表者が執筆する。

「コメント」も、代表者が、編集委員会に送信してください。

『宗教研究』編集委員会

**memo**

# 〔交通案内〕

京都／本部キャンパス 〒603-8143 京都市北区小山上総町

【京都駅方面から】

京都市営地下鉄烏丸線「国際会館」行きに乗り、「北大路」駅下車。6番出口をでてすぐ。

JR 京都駅から乗車時間約 13 分

## 地下鉄路線図

京都






# 〔キャンパス案内図〕

## キャンパスマップ

### 〈本部キャンパス建物配置図〉

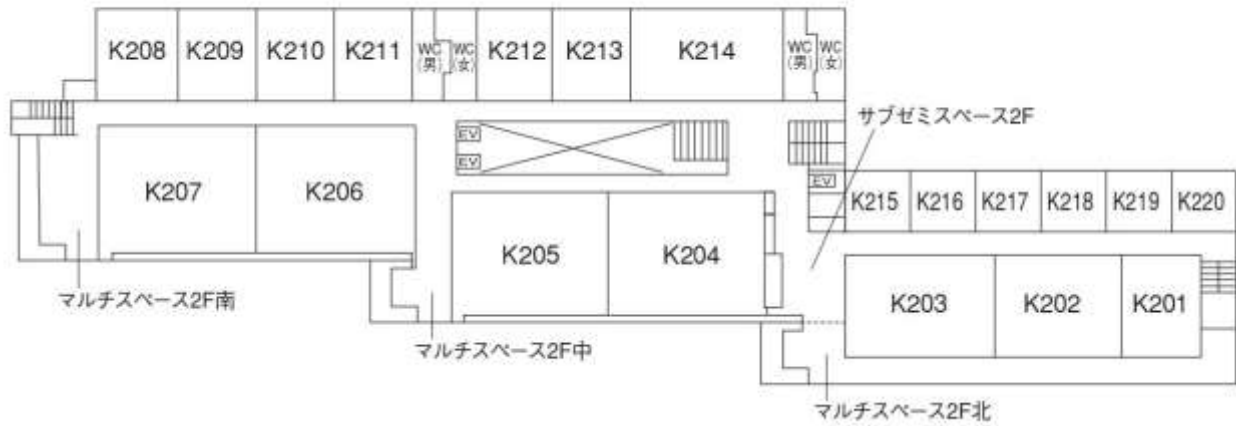


注意  構内では自転車から降りて押して歩いてください。

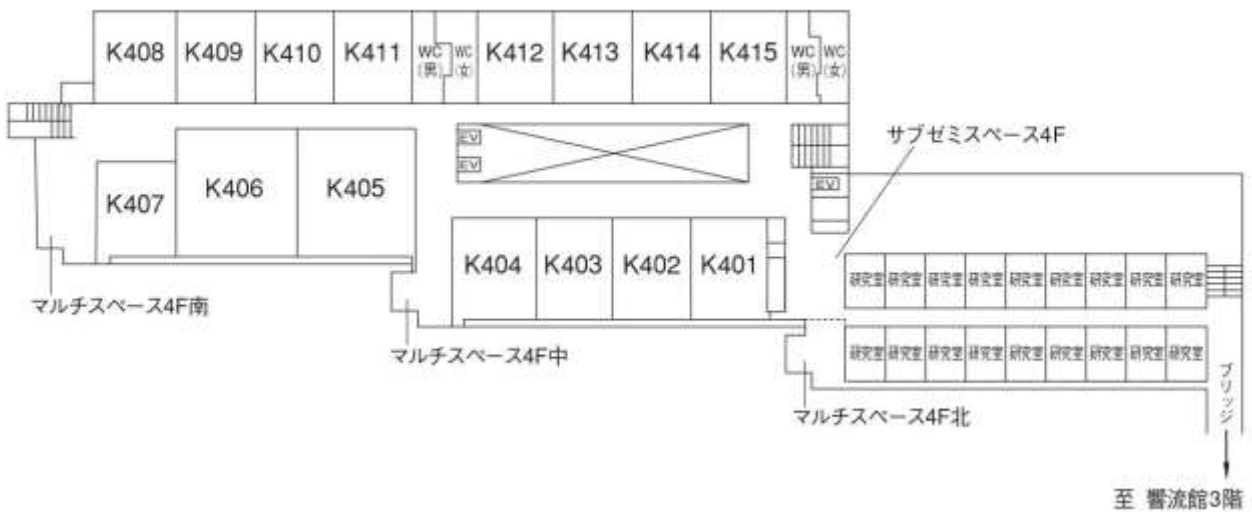
# 〔会場配置図 1枚目〕

## 〈慶 聞 館〉

### 〈2階〉



### 〈4階〉



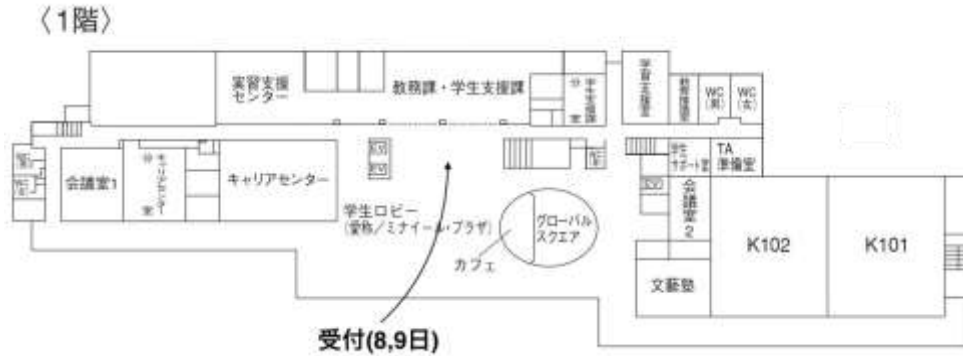
慶聞館2階			
第1部会	K214	学会賞選考委員会	K220
第2部会	K205	庶務委員会	K219
第3部会	K206	国際委員会	K218
第4部会	K208	情報化委員会	K217
第5部会	K209	プログラム委員会	K219
第6部会	K210	編集委員会	K201
第7部会	K211	理事会・常務理事会	K204
男女共同参画・若手支援WG	K214	書籍展示販売	K203

慶聞館4階	
第8部会	K407
第9部会	K408
第10部会	K409
第11部会	K410
第12部会	K411
第13部会	K405
第14部会	K406

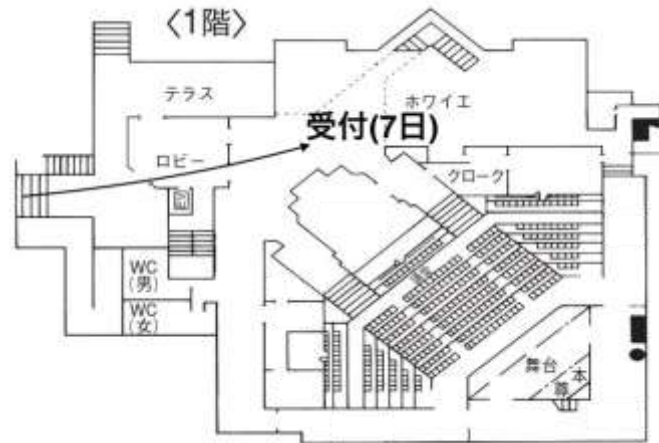
会員休憩室	慶聞館2～5階のマルチスペース各所
-------	-------------------

# 〔会場配置図 2枚目〕

## 〈慶 聞 館〉



## 〈講 堂 棟〉



## 〈響 流 館〉



### 慶聞館1階

大会本部(8,9日)	グローバルスクエア
受付(8,9日)	学生ロビー
クローク(8,9日)	会議室2
評議員会・会員総会	K101

### 講堂棟

大会本部(7日)	ロビー・ホワイエ(1階)
受付(7日)・クローク(7日)	ロビー・ホワイエ(1階)
開会式・公開シンポジウム	講堂(1階)
懇親会	食堂(地階)

### 響流館

博物館秋季企画展「大谷大学と宗教研究」	大谷大学博物館(1階)
---------------------	-------------

**memo**

日本宗教学会

第 77 回学術大会 実行委員会事務局

〒603-8143 京都市北区小山上総町 大谷大学内

E-mail : jars77th@gmail.com

HP : <http://jpars.org/conference/>